

馬放

農地・水・通信

第18号

発行日：平成28年6月30日

<http://mahanasi.sakura.ne.jp/>

馬放地区農地・水・環境保全活動の目指すところ

- 農地、農業施設の良好な維持、保全
- 農地、農業用水の長寿命化
- 自然環境、景観、歴史、文化伝統の保全

異常気象が原因なのでしょうか。各地で自然災害の多発が報道されております。自然災害の被害を少しでも少なくするため、日頃より自然を大切にする心と、農村環境の保全の大切さが大事であると言われております。ここに農地・水・通信も第18号となりました。

活動の一コマ一コマを思い出しながら、この活動に積極的に参加しましょう。

美しい馬放をみんなで守り続けましょう!!

27年度の主な活動

月 日	活動項目	参加人数
5月24日	役員会	14人
6月 7日	草刈り	41人
6月13日	花壇整備・防草シート張り	32人
6月14日	植栽・防草シート張り	46人
6月28日	生き物調査	20人
7月20日	草刈り	33人
7月26日	かかし作り	60人
8月 8日	草取り	27人
8月 9日	生き物調査	21人
9月 6日	草刈り	36人
11月11日	畦刈り機点検・清掃	4人
11月14日	施設の点検	10人
11月22日	農道整備	35人
12月13日	研修会	45人
3月 6日	施設点検	13人
3月13日	泥上げ	42人
3月30日	総会	35人

9月6日 草刈り

参加者 36名

6月、7月の草刈りの時は雨が降らなかったのに、この日は雨。年3回草刈りの内1回は雨かな



今年の天気は何だったのでしょうか？
この時季になって、雨が降り続けました



馬放の草刈り集団はさすがプロです。毎回きれいな仕上がりに脱帽です。
悪天候での作業 お疲れさまです。

9月8日 機場点検



9月11日・13日 異常気象の見回り



渋井川が決壊したときの様子

10日夜から11日朝にかけて、記録的な豪雨となり、渋井川の堤防が決壊し、住宅地が冠水しました。それだけ大きな被害が出た集中豪雨でした。

それを受け、馬放でも見回りを実施しました



11月11日 畦刈り機・草刈り機の点検・清掃



今度使うとき、すぐに使えるように、点検、そしてきれいに掃除をしてと

11月14日 施設の点検



やっぱり道路が相当傷んでいるね

雨の中の点検は法面が濡れているので滑らないように気をつけて。



11月22日 農道整備

35名参加



簡単なところは私達でもできるけど、ひどく痛んでいるところは業者に頼んでほしいよね!!



やっぱり、トラックに砂利を積むのはユンボだね



土のう袋も結構使うからね。いっぱい作らないとね



あっちこっちに傷みが出てきているね。こっちにも土のうひとつ!



11月29日 役員会



今度の勉強会は何をしようね?毎年行う勉強会について話し合われました。

12月2日 農道整備



11月の農道整備で出来なかった農道を、大場さんの機械と尾花さんの機械を借りて転圧をかけました



12月13日 勉強会

45名参加



【講演内容】

- 施設の点検は大雨等が落ち着いてから複数の人で行う。
- 危ないのにどうしても、現場を見に行きたくなるが、とても危険です。
- 私も軽トラックで危なく転落するところでした。

2月13日 研修会

大崎市主催の「世界農業遺産推進シンポジウム」に3名参加



研修会に参加した感想文です

「大崎地域では、豊饒の大地「大崎耕土」の伝統的な農業システムと農業が育む伝統文化や多様な生態系など、地域の宝を再認識し、一層誇りむかふ地域として未来の子供たちに発展・継承させるため、国連食糧農業機関（FAO）の「世界農業遺産」への認定を目指しています。」という趣旨のもと、大崎1市4町で認定に向けて鋭意努力中です。

又、大崎市にはラムサール条約（水鳥と湿地に関する国際会議で定められた「水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」）に登録されたのは、燕栗沼が2005年（平成17年）、化女沼は2008年（平成20年）に登録されました。隣りの栗原市の、伊豆沼・内沼については、1985年（昭和60年）に国内では2番目の湖沼として登録されています。

このように、私達が住んでいる馬放の周囲には国内はもちろんのこと、国際的にも重要な自然環境が存在しています。

馬放の周囲の水田には、秋から冬にかけて数多くのマガンや白鳥が飛来して、多くの水鳥の越冬地になっていることは、皆さんには既に御存知の事と思います。その飛来数も年々多くなり、夜明けと同時に田圃に来て落穂を食べ、陽の暮れるころに越冬地に帰っていきます。その飛び立つ光景は馬放ならではのことです。

このように、馬放は周囲がすべて水田であり、水稲や大豆が主に栽培されている大崎市の中でも重要な食糧生産地でもあります。

水稲を栽培するには、非常に多くの水が必要とされます。現在の水田は基盤整備がされ、1枚が1haという大区画水田となっています。その水田に水を引入れる為、パイプラインが敷設され、排水の各コンクリートの水路があります。6月と8月に馬放地区の人連や子供会とが一諸になつて生き物調査を実施しています。網で魚のいる所をすくうと、ドジョウ、たにし、ママガイ、ザリガニはいっぱい入りますが、ふなやタヌキは少ないのが現状のようです。このことは年により降水量の多少があり、それが水路にいる生き物にも影響があると思います。

このように、私達が生活している周囲の水路や水田のコンクリート水路の水が、常に流れていて、水の透明度が高く、生き物の住み易い環境作りをする事が大切な事と思います。

6月から9月まで、暑い中での農道や水田畦畔の草刈りは、人間にとっては非常に重労働ではありますが、多くの生き物が見られる生息地の保全と、獲り鳥が秋になるとたくさん飛来して田圃で落穂等を食べている光景が毎年見られるように、馬放に生活している私達が努力を怠らなければなりません。

又して大崎地域が「世界農業遺産」に認定されることを祈ります。

馬放の豊かな農業環境を子や孫の世代にも継承していく為に、農地・水・環境保全活動に地区民の多くの方々に参加していただければと思っています。

平成28年4月
鳥屋嘉一

3月6日 施設の点検

この水路は泥上げをしないとだめだね！ゴミもいっぱい散らかっていたので拾って持ち帰りました。



3月13日 農道整備と水路の泥上げ

42名参加

春先の大事な作業です。

いよいよ1年が始まりますね！



泥上げの様子



機場の中はいつもゴミがいっぱいで、作業も大変です。しかし、これをしないとダメなんです。本当にお疲れさまです。

業者による農道の転圧



業者委託の農道転圧。路面を削っては圧をかける。そんな作業を何回も繰り返して、でこぼこを直していく。さすが大型機械です。

3月20日 役員会



3月30日 総会



総会で多くの皆様の参加をいただき、いろいろな意見が交わされました。28年度の活動もよろしくお願ひします。

28年度の主な活動計画

月 日	活 動 内 容	開始時間
4月中旬	パイプライン機能点検	
6月12日	水路・農道草刈	6:00
6月12日	草取り	8:00
6月18日	植栽	8:30
6月26日	第1回生き物調査	6:00
7月中旬	水路・農道草刈・花壇の草取り	
7月下旬	かかしづくり	
8月中旬	第2回生き物調査	6:00
9月上旬	水路・農道草刈・花壇の草取り	
11月中旬	施設の点検	
11月下旬	農道整備・農用地法面補修技術研修	
12月上旬	勉強会	
3月上旬	水路・側溝の泥上げ	
3月下旬	総会	

※必要に応じて役員会、施設の点検を行います